

美郷町の 助 役に 佐々木敬治氏 が就任 収入役に 坂本 昇一氏

本町の助役に佐々木敬治氏(美郷町六郷)、収入役に坂本昇一氏(美郷町本堂城回)が4月1日、それぞれ就任しました。

任期は、平成17年4月1日から平成21年3月31日までの4年間です。

本町の助役及び収入役については、新町が誕生してから不在となっていました。2月28日に開会した町議会定例会の最終日(3月10日)に選任案が追加提案され、いずれも全会一致で同意されていました。

なお、分庁方式により3つの庁舎に組織が分散している本町では、助役は助役室のある六郷庁舎、収入役は出納室のある仙南庁舎でそれぞれ執務することになります。

就任のごあいさつ



助役
佐々木敬治

この度、議会のご同意を賜り助役に就任いたしました。町民の皆様のご理解を大事にしながら美郷町の礎を築くお手伝いをさせていただきます。

町はよく車に例えられますが、議会と町当局は車の両輪で町民の皆様が乗客、燃料に相当するのが予算。車を走らせるには回り道とか燃料を無駄に使うこと

は避けなければなりません。まちづくりのキーワードである「融和」から「前進」へソフトアップさせるには、乗客の皆様が安心していただくことが大切であり、産業だとか福祉、教育あるいは防災といった生活に直結する停留所、お客様の乗降の意思をしっかりと確認させていただくことが、とても大切であると感じております。

これまでの誕生までの産みの苦しみから町が自ら育つ喜びの皆様と共有し、着実に歩みを進めるため、決意を新たに職員と一丸になり任にあたっております。

就任のごあいさつ



収入役
坂本 昇一

奥羽の山々から雪解け水をあつめ、この美しい郷にそそがれる季節を迎えました。春はいつも新しいことの始まりを感じさせます。

さて、この度4月1日付けで収入役の任を拝し就任させて頂きました。私はもとより浅学非才であり、その職務を考えますと身の引き締まる思いとともに、責

任の重さを改めて痛感いたしているところであります。立場はこれまでと異なりますが、JA職員として地域の方々とは様々な面で深くかわり、そのなかで得た経験、教訓を活かし町勢発展に一所懸命に取り組む所存でおります。

行政については不案内ではありますが、日々研鑽をつみ松田町長のもと目指す町づくりに精一杯の努力をして参りたいと思っております。

どうか町民の皆様方のご指導とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

あなたの`声、を町長に直接伝えませんか

4月のふれあい談話室

期 日	時 間	場 所
4月14日(木)	午後5時～ 午後6時30分	役場千畑庁舎1階 応接室(元町長室)
4月19日(火)		役場仙南庁舎2階 応接室(元村長室)
4月27日(水)		役場六郷庁舎2階 町長室

町長が各庁舎に出向き、来庁された町民のみなさんから町政へのご意見やご要望を直接お伺いします。個人でも団体でもお気軽にお立ち寄りいただき、町長へ直接お話しください。

町長が週1日 役場千畑庁舎と仙南庁舎で執務

移動町長室

曜 日	時 間	場 所
毎週火曜日	午前9時～ 午後3時	役場仙南庁舎
毎週木曜日		役場千畑庁舎

町長が毎週1日、役場千畑庁舎と仙南庁舎で執務していますので、ご用のある方はお立ち寄りください。

なお、会議への出席等により、不在の場合や実施できない場合があります。



役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班 ☎84-1111(内線1225)

「柔らかに」



美郷町長
松田 知己

「入学の子をうしろよりはげまし行く」(近藤一鴻)。期待と不安が混交した子ども達の気持ちと同様、親の気持ちも伝わってくる句です。柔らかな感情が沸いてきますが、皆さんはいかがでしょうか。

さて、美郷町の各種事務事業も入学生と同様、新たな気持ちでスタートです。様々な分野の色々な事業について、旧町村の違いを統一し実施するもの、今年度中に調整・統一化させるもの、ともにこの四月から着手です。この仕分けは、個人の受ける行政サービスは極力統一化し、地域全体に関わる事業等は周知を含めて時間を掛けるという視点です。その中で、今年度統一化した事業については、基本的に制度を継続するものの、内容は事業目的等を踏まえ、柔らかな変化として認識していただける範囲の改正になるよう留意したところです。

高齢者福祉制度を例にしますと、はり・灸・マッサージ施術費助成や敬老会開催、長寿祝金や介護手当の支給、温泉利用無料券などこれまでの制度はほぼ継続しますが、内容は対象者拡大を踏まえた視点で統一化を図っておりますので変更されております。様々なご意見があると思いますが、全体的には柔らかな変化のつもりです。

こうした取り扱いの核心には、社会環境と財政環境の変化があります。例えば介護保険制度は今年大きな改正があります。私たちはこうした流れを見据えて、行財政運営に努めなければなりません。更に、皆さんの気持ちを取り入れて変化に対応しなければなりません。そのため、今年度は柔らかな第一歩にした次第です。皆さんには、こうした観点での取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。

今年は大変な雪で、自宅の竹も雪に埋もれてかなり撓しなっておりますが、折れずがんばっています。柔らかなさです。示唆に富んでいるように思います。私たちの美郷町が将来性のある町を目指すには、そうした柔軟性が大切のように思います。さあ、新たな年度がスタートです。

写真

2月28日に開かれた町議会定例会で行政報告をする松田町長